2025.11.15

学科YouTube講座

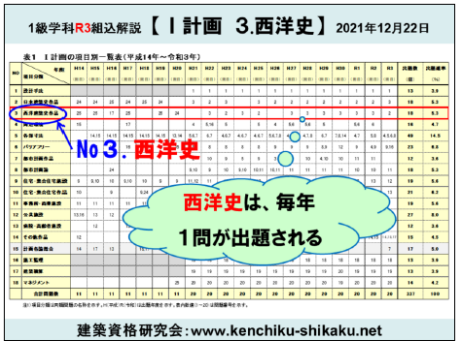
1. 講座の構成と工程

2025年11月現在の学科YouTube講座は、下記6項目での構成となります（各項目の工程は下記参照）。
本講座は、2026年1月からほぼ毎日、1項目ずつアップします。一度、YouTubeとして公開し、その後に会員講座内で一覧表として再アップします。また会員講座では、紙ベースで打出して学習できるように、PDFも一緒に掲載します。
2025年の問題および解答は、2026年1月から下記に示す通り順次アップする予定です。

（1）学科共通事項のYouTube講座　⇒適宜アップ
（2）Ⅰ計画の項目別YouTube講座　⇒2026年1月にR7組込アップ予定
（3）Ⅱ設備の項目別YouTube講座　⇒2026年2月にR7組込アップ予定
（4）Ⅲ法規の項目別YouTube講座　⇒2026年3月にR7組込アップ予定
（5）Ⅳ構造の項目別YouTube講座　⇒2026年4月にR7組込アップ予定
（6）Ⅴ施工の項目別YouTube講座　⇒2026年5月にR7組込アップ予定

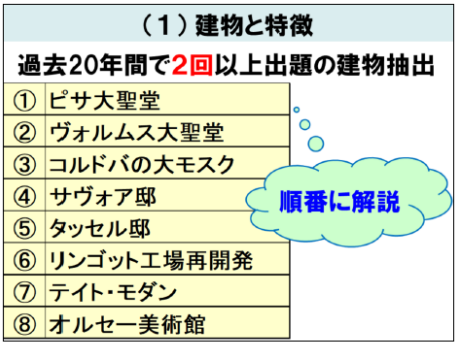
2. 講座の概要

本講座は、できる限り分かりやすい図や表などを組込ながら資料作りをしています。その図は、著作権にかからないよう手書き等で書いていることから、綺麗な図でありません。下記に参考として、学科Ⅰ計画の「3.西洋史（一部）」の内容を示します。

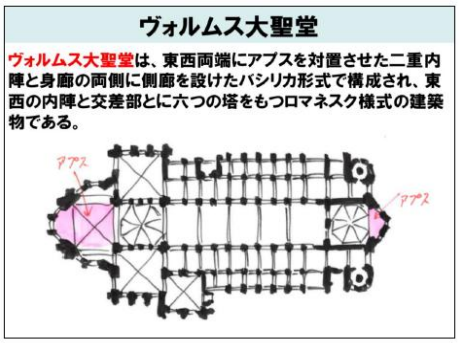


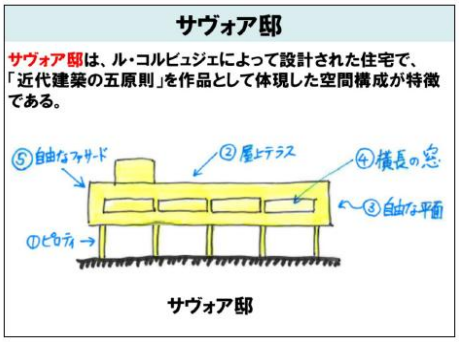
このユーチューブは、見るだけで、今年の学科試験に合格できたといって頂けるように全力を尽くします。

西洋史の出題傾向について説明します。
西洋史は、大きく分けると①特徴、②人名、③様式の三つになります。

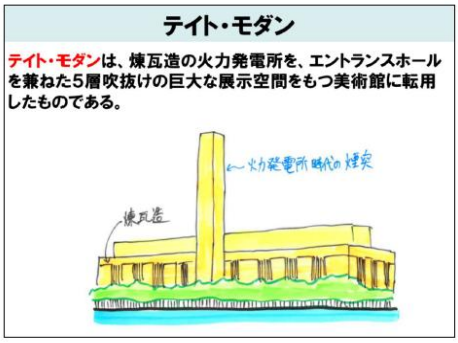


（1）建物と特徴では、過去20年で2回以上出題のあったものを抽出して説明します。

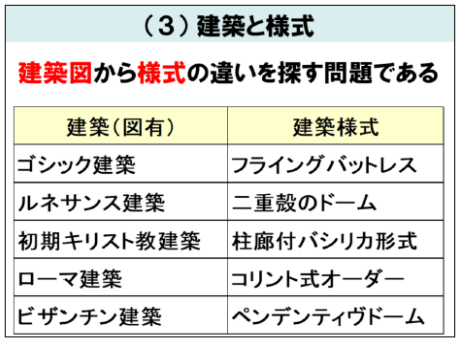




サヴォア邸について説明します。
サヴォア邸は、ル・コルビュジエによって設計された住宅で、「近代建築の五原則」を作品として体現した空間構成が特徴です。
図はサヴォア邸ですが、その中で、近代建築の五原則である①ピロティ、②屋上テラス、③自由な平面、④横長の窓、⑤自由なファサードの全てが



テイト・モダンについて説明します。
テイト・モダンは、煉瓦造の火力発電所を、エントランスホールを兼ねた5層吹抜けの巨大な展示空間をもつ美術館に転用したものです。
図にあるように、火力発電所時代の煙突がそのまま残っています。



建築（図有）	建築様式
ゴシック建築	フライングバットレス
ルネサンス建築	二重殻のドーム
初期キリスト教建築	柱廊付バシリカ形式
ローマ建築	コリント式オーダー
ビザンチン建築	ペンデンティヴドーム

（3）建築と様式について説明します。
ここの問題は、建築図から建築様式の違いを探す問題です。
以下は、すべて正解ですが、この中の建築様式を変えてものが出題されています。
フライングバットレスはゴシック建築、二重殻のドームはルネサンス建築、柱廊付バシリカ形式は初期キリスト教建築、コリント式オーダーはローマ建築、ペンデンティヴドームはビザンチン建築です。
以下、この図を示します。

この図の建築様式は、柱廊付バシリカ形式であり、初期キリスト教建築です。

この図の建築様式は、ペンデンティヴドームであり、ビザンチン建築です。